

## 小松崎 誠 議員

**Q** 保育所募集記事に不安の声  
この反応に対する認識は

**A** さくら保育所閉所問題中の広報  
保護者との信頼回復に努めます

**Q** 10月20日発行の広報誌に、来年度の市立保育所の募集記事が掲載されていた。懸案であるさくら保育所の閉所時期等について保護者との話し合いもなく発行され、不安の声も届いている。この反応に対し、どのような認識を持っているのか。

**A** 保健福祉部長 保護者の皆さまには、さくら保育所閉所問題がある中で不安と心配をおかけしている状況での広報となつてしまいました。本来であれば、保護者との話し合いのもとで案内をするべきでした。今後、入所保護者の方々と話し合いを進め、信頼回復に努めてまいります。

**Q** かすみがうら市の人口減少を食いとめ、さらなる発展を目指すためには、雇用の場をつくり次世代に残してあげることが必要不可欠である。企業誘致の重要性について、市長の考えを伺う。

**A** 坪井市長 市の活性化には、地域はもとより、市民一人ひとりが元気になることが不可欠です。安定性の高い就業機会の提供や拡大はそのための大きな要素であり、企業誘致を積極的に進めることは、これらを図る上で極めて有効な手段の一つであるとの認識であります。

今後とも、茨城県企業立地推進室等と連携を図り、本市の行政組織機構の見直し等も含め、雇用の推進に努めてまいります。

### 質問事項

**21** 市の活性化策について  
市立保育所の募集について



▲市立さくら保育所

## 佐藤 文雄 議員

**Q** 新たな広域ごみ処理建設について市長の見解は

**A** 平成27年度には3市1町による広域組織設立

**Q** 本市のごみ処理について「4市町が足並みをそろえ、石岡市の霞台厚生施設組合石岡地区環境センターを軸に新たな施設の整備を進める」との新聞報道があったが、市長の見解は。

**A** 坪井市長 石岡市、小美玉市、茨城町と協議を重ね、新施設の場所やスケジュール等を検討した上で、平成27年度には事務組合の広域組織設立を目指す考えです。なお、現在の新治地方広域事務組合環境クリーンセンターの運営については、住民の皆さまにご迷惑がかからないよう維持管理してまいります。

**Q** 市立さくら保育所の閉所問題について、市長の見解は。

**A** 坪井市長 さくら保育所の閉所時期については、保護者の皆さまに対して民営化への不安を解消できるよう説明をしていくなど話し合いを進め、合意形成を図ったうえで決定してまいります。

### 質問事項

- 1** 放射能汚染から子どもと市民及び地域を守る総合対策について
- 2** 下土田の残土問題について
- 3** 広域ゴミ処理場建設問題について
- 4** 総合的な子育て支援について
- 5** 農業振興について（米価暴落対策について）
- 6** 介護保険改定と高齢者支援について
- 7** 国民健康保険について
- 8** 納税対策問題について
- 9** 水道事業について（ムダな水開発事業の中止を）



▲環境クリーンセンター

## 田谷 文子 議員

**Q** 今後の発展性あるまちづくりに市長の方策は

**A** 活動支援助成で市民協働によるまちづくりを期待

**Q** 少子高齢化が進む状況下で、市長は、かすみがうら市をどのような方向づけで活性化させて、発展性のあるまちづくりをしていこうと考えているのでしょうか。

**A** 坪井市長 平成26年度から、市民団体等のまちづくり活動を支援する「まちづくりファンダ助成事業」を開始し、市民協働による地域特性を生かした魅力あるまちづくりに取り組んでおります。この助成事業が、まちづくり活動のきっかけとなり、市民と行政の協働によるまちづくりが、より活発になりますことを期待しているところであります。

**Q** 政府は人口減少を踏まえ、学校の再編を促すために公立小中学校の統廃合する指針を58年ぶりに見直すとの報道がありました。本市では、小規模小学校が際立ってきておりますが、十分な教育成果を上げるための方策と、千代田地区小中学校の統廃合について伺います。

**A** 大山教育長 市内の小規模小学校では、社会科見学や宿泊学習の共同実施など、小学校同士の連携を図りながら教育成果を上げる工夫に努めており、今後、このような取り組みを継続していく考えです。また、千代田地区小中学校の統廃合は、統合校の位置をめくり意見が一致しないため、保護者や地域の意見などを伺いながら慎重に進めてまいります。

### 質問事項

**3211** 千代田地区の小中学校の統廃合について

かすみがうら市の活性化について  
市道51号線（上稲吉地区から馬立地区通過地点）のバイパス化及び市道891号線（上稲吉地区から舟橋まで）の今後の補修計画について



## 中根 光男 議員

**Q** 台風時冠水等が見られる地域の今後の対策は

**A** 排水路堆積土砂撤去等を順次進めることで対応

**Q** 台風18号の際、市街地を中心に現場確認をした。予想以上に大変な状況で、通行止めや床下浸水寸前のところもあった。このような冠水などが見られる地域について、その対策を伺う。

**A** 土木部長 近年特有の豪雨は、想定を超える状況にあります。市街化区域では、排水施設等が冠水し雨水が滞留した地域が数カ所発生しております。限られた予算の中ではありますが、排水路堆積土砂の撤去や集水効果の高い側溝蓋への交換等、雨水対策について順次進めてまいります。

**Q** 子どもの命を守り、安心して勉強に励める環境づくりは最も優先しなければなりません。防犯カメラ設置の必要性を一貫して主張してきたが、残念ながら設置していない学校がある。いつまでに設置するのか。

**A** 教育部長 防犯カメラの設置は、事件の抑止効果や犯罪の立証に大きく役立つと考えております。霞ヶ浦地区の小・中学校は、平成27年度の学校統合整備事業とあわせて整備をします。千代田地区では、現在未設置の千代田中、新治小、七会小、上佐谷小について、なるべく早い時期に整備ができるよう十分検討し、安全・安心な教育環境を整えてまいります。

### 質問事項

**43211** 茨城県が12月から実施する高齢者優待制度について  
防犯カメラの設置していない学校への対応策について  
年末のゴミ収集について  
より良い都市環境と居住環境を確保するため、地域に  
適した雨水排水対策について

**5** 婚活事業について



▲防犯カメラ

## 来栖 丈治 議員

**Q** 合併特例債対象事業の進捗状況は

**A** 霞ヶ浦庁舎建設等12事業終了継続11事業

**Q** 合併特例債事業については、限られた財源の中での有効活用を行い、市民生活の向上に努められてきたことと思う。合併特例債対象事業の進捗状況について伺う。

**A** 市長公室長 合併特例債事業は、合併時に策定された新市建設計画の中で幹線市道整備事業等が位置づけられています。その後、二度の計画変更により事業の見直しを行い、計画期間も平成36年度までに延長しました。これまで、地域福祉センター整備事業や霞ヶ浦庁舎建設事業など計12事業が終了しており、継続中の事業は11事業となっております。

**Q** 6次産業を推進するためには、専門家の協力が必要である。アドバイザー組織として、農協や企業の退職者、有識者等により調査研究室を設けてはどうか。

**A** 坪井市長 政府の地方創生本部の考えを私なりに解釈すると、頑張る地方を国が応援してくれるものと考えます。しかし、市役所だけが頑張っても、民間に有効な効果が現れないと全く評価されません。だとすれば、地域の産業関係全ての出勤によって地域を元気にしていかなければなりません。有識者が地域にもたくさんおられますので、どんどん参加をいただくことによって進んでいきたいと考えております。

- 質問事項**
- 1 工業団地の企業立地状況の現状と今後の誘致活動について
  - 2 職員の適正評価と配置、異動などについて
  - 3 再生可能エネルギー政策について
  - 4 米価下落による農家支援策について
  - 5 人口減少に歯止めをかける政策について
  - 6 合併特例債事業について
  - 7 政策推進のため調査研究室の設置について



▲霞ヶ浦庁舎

## 山内 庄兵衛 議員

**Q** 霞ヶ浦地区統合校整備に防衛省との折衝を

**A** 防衛補助基準外のため文科省補助により整備

**Q** 霞ヶ浦地区の学校は、防衛省の補助事業により整備をしてきた経過がある。統合校の整備についても、すばらしい学校ができるよう防衛省といろんな面で折衝して進めるべきではないのか。

**A** 市長公室長 学校統合の整備を進めている美並小学校については、平成24年度に防衛省で音響測定を実施しましたが補助の適用基準を満たしませんでした。もう一つの統合校である旧北中学校の整備についても、防衛省と協議をした結果、防衛補助での整備は難しいと判断しました。そのため、文部科学省の学校施設整備補助金により、両校の整備を進めているところです。

**Q** イノシシがどんどん増え、被害は膨大である。ハンターは少なくなっており、千代田地区では13名となった。今後の鳥獣対策についての考えを伺う。

**A** 環境経済部長 平成25年度から、土浦市・かすみがうら市農作物鳥獣被害防止計画に基づき、年間100頭を目標として地元猟友会のご協力をいただきながら捕獲活動を実施しております。イノシシの被害地域が拡大していることから、駆除数については見直しが必要であると認識しております。また、鳥獣撃退装置についても十分検討してまいります。

- 質問事項**
- 1 農政問題について
  - 2 後継者問題について
  - 3 教育問題について
  - 4 国定公園内の山林について
  - 5 石岡地方斎場セレモニーホールについて



▲美並小学校